

令和2年4月30日

令和元年度森林における放射性物質モニタリング調査結果について

森林における放射性物質モニタリング調査結果については、例年説明会により公表しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の開催は中止としました。

なお、令和元年度の調査結果については、森林計画課ホームページに5月1日に掲載し、公表する予定です。

記

1 調査概要

森林内の放射性物質の動態を解明し、その対策を進めるため、平成23年度から継続的に調査を実施している。

【令和元年度調査】

- ・調査箇所数：1,300箇所（県内民有林：空間線量率測定）
- ・うち81箇所（樹皮、葉、辺材、心材、落葉層、土壌の放射性セシウム濃度）

2 調査結果

- ・平成23年度からの継続調査箇所362点の平均空間線量率は $0.20 \mu\text{Sv/h}$ 。（平成30年度： $0.23 \mu\text{Sv/h}$ 、平成23年度調査と比較して約78%減少）
- ・樹木内部の放射性セシウム濃度は、比較的low濃度で木材利用への影響なし。
- ・葉の放射性セシウム濃度は、平成25年度調査の旧葉と比較して4%以下まで減少。
- ・森林内の放射性物質は、枝葉や落葉層から土壌へと移行し、全体の9割以上が土壌へ分布。

3 放射性物質対策実証により得られた結果

- ・間伐施業や木材チップ被覆による空間線量率低減の効果は維持されていた。
- ・広葉樹における萌芽枝の放射性セシウム濃度が、平成25年度調査時と比較して約1/4まで低減した。
- ・山火事跡地（伊達市、南相馬市）における沢水から放射性セシウムの検出はなかった。

4 森林計画課URL

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055a/shinrinkeikaku.html>

連絡先 福島県農林水産部 森林計画課 主幹 會田充茂
電話 024-521-7328 県庁内線 3408